

蛾の幼蟲、蛹、成蟲等の寫眞 (3)

河 田 黨

(3) リンゴハマキクロバ

(ナシノホシケムシ)

Illiberis pruni DYAR.

卵は卵形で、少しく扁平、表面は縮緬状を呈する。色は白色で、少しく黄色味を帯びる。幼蟲は割合に太く短く、疎らに毛を生じ、若齡のものは暗紫色であるが、老齡のものは黄白色で、各環節に黒紋を連らねてゐる。蛹は黄白色。

幼蟲はナシの葉を絲で袋状に捲き、その中に生活し、且ナシの葉を食とする。5月下旬老熟すると、矢張りナシの葉を捲いて、その中に繭を造り、蛹となる。繭は白色で、2重の絹絲層より成る。6月中旬頃に成蟲が現はれる。この蛾は晝間活動するが、餘り活潑ではない。

寫 眞 說 明

左上	老熟せる幼蟲	×1.5	1932年5月下旬撮影
左下	繭	×1.5	1932年6月上旬撮影
右上	成蟲	×1.5	1933年6月12日撮影
右下	卵	廓大	1933年6月中旬撮影

KONTYŪ, VOL. VII, Nos. 5-6.

PLATE II.

